

長 生

令和元年 6 月 号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏
宗 教 編	
法 話	得勝寺 本莊一治… 1
法 話	真宗教化センター しんらん交流館 企画調査局長 禿 信敬… 3
医 学 編	
指に目あり	長生学園 講師 星 虎男… 7
随 想 編	
開業5年目を迎えて ～脱サラ夫婦の治療院経営術 その1	
	岡山県 佐々貴司… 9
関本薫先生に感謝 ～私が長生学園に入った理由～	
	44期生 中村政夫…14
長生歌壇	17
長生知恵袋	18
支部報告	22
支部案内	22
学園便り	23

日本長生医学会

会長のことば

総本山長生寺管長 柴田政宏
日本長生医学会会長

季節は春から夏へと変わり、沖縄では早くも梅雨入りしています。一方では全国各地で真夏日を記録し、熱中症対策を呼びかけています。数年前から非常に短い期間に局地的に激しい雨が降り甚大な被害が起こっています。今年はこのような被害が起こらないことを願っていますが、気象情報をチェックして避けられる被害は避け、被害にあっても慌てないよう事前に準備をすることが重要と思います。

信は道の元となり 功德の母なり

信は人間がふみ行ふべき道の根元となるものであり、様々な功德を生み出す母となるものである。人間社会の善と言われるもの一切を生み出す元である。

5月23日長生寺において長生学園の生徒が出席のもと長生上人命日法要が執り行われました。

長生上人は浄土真宗の信仰の厚い家庭に育ち、6歳の新春、仏前で母から「将来は東本願寺さまに1万円の寄付の出来る身になってもらいたい」との願いを聞きました。それが強い信念となり、それから数々の艱難辛苦を乗り越えられて人間の心と体を一緒に救いたいと願い様々な研究と苦勞を重ねて長生療術を確立され、さらに長生教団を設立されたのです。以来、多くの先達や日本全国で活躍される先生方の奉仕の精神により現在まで受け継がれ多くの病める人々に救いの手が差し伸べられて参りました。

例年のように長生上人と阿彌法尼のビデオを拝聴しました。その中で「日本だけでなく、世界人類皆が、身体を丈夫にして仲良くして皆が一歩ずつゆずりあうように」と申されております。このような世の中になると皆が幸せになり他への思いやりの心が起こり世界平和へとつながっていくことでしょう。私も阿彌陀様の誓願を信じて報恩感謝の精神で精進してまいりたいと思います。会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度から会員名簿の記載事項を一部変更することになりました。皆様にご不便をおかけしておりますが8月頃皆様のお手元に届くよう編集を急いでいます。皆様に往復はがきにて記載事項を確認させていただいておりますのでご協力をお願いします。

合 掌

宗教編

法 話

得勝寺 本 莊 一 治



今回は、浄土真宗の七高僧さまの中での、第二番目の天親菩薩さまの『三経一論』と
言われております中での『一論』、つまり、『浄土論』につき、その趣旨につきまして述べさせていただきます。

親鸞聖人さまは、天親菩薩さまのそうした崇高なご姿勢に深く感動され、お『正信偈』やご『和讃』の中で、気高く奉讃されておられます。

今回は、そうした奉讃された視点につき、若干、ふれさせていただきます。まず初めですが、そのお『正信偈』に掲げられました天親菩薩さまの世界につき述べさせていただきます。

1、天親菩薩さまのお示しについて

では、親鸞聖人さまは、天親菩薩さまのみ教えをどのように捉え、記述されておられるのでしょうか、繙いてみたいと思います。

当、『真宗長生派聖典』の中では次のよう
にあります。

天親菩薩造論説 天親菩薩は「浄土論」を著して巻頭の「帰敬偈」に

帰命無碍光如来 「世尊よ、我一心に尽十方無碍光如来(阿弥陀仏)に帰命し奉る」と説き、

依修多羅顕真実 そして「大無量寿経」によって真実を明らかにし、

光闡横超大誓願 いかなる凡夫も仏力他力によって、すみやかに仏になることのできる第十八願の意味を明らかにされた。

広由本願力回向 如来がわれらに施しめぐら

したもう本願力によって、**為度群生彰一心** 天親菩薩は、広く生きとし生ける者たちを救うために、阿弥陀如来ご廻向

に無碍の一心のいわれを明らかにされた。

とあるのです。

したがって、天親菩薩さまは、『大無量寿経』の経意を明らかにされ、『浄土論』を著作されておられるのです。そこで、

「自分は一心に(尽十方無碍光如来)に絶対的に生命をかけてついて参ります」

と表白されておられるのです。そして、その表白の感激のままに、お経に説かれている真実について明らかにされておられるのです。したがって、天親菩薩さまは、毎日の生活の中で苦しみ悩みをかかえている人びとを、速やかにみ仏の世界に生まれさせずにはおきません、と固い決意を語っておられるのです。そして、真実信心を得た人は、阿弥陀如来さまの本願他力をもって、迷いの絆を断ち切り、間違いなく涅槃の都に入られるのである、と言っておられるのです。したがって、さらに(それはまさに、太陽によって夜が明けるのと同じようなのである)と述べておられるのです。

さらには、繰り返しになりますが、大事なのは、親鸞聖人さまが深く感動されておられる天親菩薩さまがお示しくださった「帰命尽十方無碍光如来」さま、つまり、(尽十方無碍光如来さまに帰命する)ということ、意味的には、(尽十方無碍光如来)とありますが、

如来さまのご誓願というものは、いつでも、どこでも障りなく、隔てなく、かつ無辺に行き届くみ光のようなものであるという意味なのです。つまり、一味平等の世界を表しているのです。

したがって、ありとあらゆる生きとし生ける衆生をお救いくださる阿弥陀如来さまの世界、それを天親菩薩さまは、(尽十方無碍光如来)さまとお示しくだされておられるのです。

こうした背景から、親鸞聖人さまは天親菩薩さまのご教示に深く心打たれ、ご「和讃」の中では、次のように讃歌されておられます。

「天親論主は一心に 無碍光に帰命す 本願力に乗ずれば 報土にいたるとのべたまふ」とあるのです。意味的には、

(天親菩薩さまは、一心に無碍光如来さまに帰命されておられるのです。

したがって、如来さまの本願力にうちまかせられれば、必ず真実の報土(阿弥陀如来さまのご廻向による他力のお念仏にみちびかれて往生する浄土)に至るのである)とあるのです。そうした意味では、親鸞聖人さまは『浄土論』の最初にある偈文「世尊、我、一心に尽十方無碍光如来に帰命す」の表白を、このように捉え、真実の報土(本願の報いに現れた浄土)に至るには、本願力に乗せねばならないのである。とのお示しに讃歌されておられるのです。

したがって、さらには、次のようにご「和讃」の中で讃歌されておられます。

「尽十方の無碍光仏 一心に帰命するをこそ 天親論主のみことには 願作仏心とのべたまへ」とあります。意味的には、

(一心に尽十方無碍光仏に帰命することこそ、

天親菩薩さまは、願作仏心(仏になろうと願う心)であると述べられておられるのです。)とあるのです。

したがって、親鸞聖人さまは、「世尊、我一心に尽十方無碍光如来に帰命する」こととは、まさに、如来さまのご本願力にうちまかせれば、渡衆生心なのである、とお示しくだされておられるのです。

ところで、この(渡衆生心)ですが、(衆生を摂取して有仏の国土に生ぜしめる心なり)という意味なのです。

こうした思考から親鸞聖人さまはご「和讃」の中で、さらに、次のように讃歌されておられます。

「釈迦の教法おほけれど 天親菩薩はねんごろに 煩惱成就のわれらには 弥陀の弘誓をすすしむ」とあります。意味的には

(お釈迦さまがお説きくださった教法は膨大であります、天親菩薩さまは、広く諸教に通じておられましたが、煩惱具足のわれらが為に、阿弥陀如来さまのご誓願を力強く、勧められておられるのです。)とあるのです。

したがって、親鸞聖人さまは、そうした煩惱に深く悩み苦しむ衆生の為に、阿弥陀如来さまが広大無辺のお慈悲豊かなご誓願を、天親菩薩さまが、きめこまかく、著書である『浄土論』の中で明確に記述されておられることに深く感銘され、ご「和讃」の中でこのように讃歌されておられるのです。

さらに、親鸞聖人さまは、お『正信偈』の中で、天親菩薩さまのご姿勢を崇高に讃えられておられます。

次回、説明させていただきたいと思います。

合掌

4月花祭りにおいての、禿信敬先生の法話を紹介いたします。

法 話

真宗教化センター
しんらん交流館 企画調査局長 禿 信 敬



みなさん、おはようございます。本日皆さんは3日目という事で、ご苦労様です。

【三帰依文】

では、さっそく皆さんのお手元にお配りいたしました「三帰依文」を皆さんと一緒に読みたいと思います。これは、本日の花祭りのお勤めの時本の最初の所にも同じ文章が出ております。

『人身受け難し、いますでに受く。仏法聞き難し、いますでに聞く。此の身今生において度せずんば、さらにいづれの生においてかこの身を度せん。大衆もろともに、至心に三宝に帰依し奉るべし。』

自ら仏に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、大道を体解して、無上意を發さん。

自ら法に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、深く経蔵に入りて、智慧海のごとくならん。

自ら僧に帰依したてまつる。まさに願わくは衆生とともに、大衆を統理して、一切無碍ならん。

無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭遇うこと難し。我いま見聞し受持することを得たり。願わくは如来の眞実義を解したてまつらん。』

この三帰依文というのは、昔からある既成仏教徒の為の誓いの言葉です。

次の、パーリ三帰依文をご覧ください。三帰依文というのは、元々パーリ

語です。パーリ語と言うのは、12か13あるインドの公用語の一つで、お釈迦様がお生まれになって亡くなられるまで活動されていた地域の言葉です。

では、読んでみましょう。

【パーリ三帰依文】

Buddhaṃ saraṇaṃ gacchāmi

(ブツダン・サラナン・ガッチャーミ)

(私はブツダ (仏) に帰依いたします)

Dhammaṃ saraṇaṃ gacchāmi

(ダンマン・サラナン・ガッチャーミ)

(私はダンマ (法) に帰依いたします)

Saṅghaṃ saraṇaṃ gacchāmi

(サンガン・サラナン・ガッチャーミ)

(私はサンガ (僧) に帰依いたします)

最初のブツダン・サラナン・ガッチャーミというのは、先ほど皆さんと読みました、「自ら仏に帰依したてまつります。」に当てはまります。「ブツダン」とは、仏様(ブツダ)のことです。「サラ」とは、「心から・思いを込めて」という意味です。「ナン」とは、南無阿弥陀仏のナムで、「帰依する、大切にする、拠り所とする」という意味です。

「ガッチャーミ」とは、「私は～いたします」

という意味になります。

繫げますと、「私は、ブッダン（仏様を）サラ（心から）ナン（大切に拠所と）・ガチャーミ（いたします）」とこうなります。

次に、ダンマン・サラナン・ガッチャーミですが、ここでは自ら法に帰依したてまつる。という意味になります。「ダンマン」とは、パーリ語で「ダーマ」と申します。ここでは、ダンマンと表現され、「法・仏様の教え」を意味します。

つまり、「私はサラ（心から）ダンマン（仏様の教えを）ナン（大切に拠所と）ガチャーミ（いたします）」となります。

さて、最期のサンガン・サラナン・ガッチャーミですが、自ら僧に帰依したてまつる。という意味になります。サンガンは僧の意味です。僧という字は僧侶の僧なので、「お坊さんを大事にしましょう」という意味になりますが、実はちょっと違います。

僧というのは、パーリ語の方を見ていただきますと、「サンガ」と書いてありますね、京都パープルサンガというサッカーのチームがありますが、このチーム名のサンガは、このサンガです。

昔々、三蔵法師さんが、中国からインドに渡って、お釈迦さまの教えをインドから中国に伝えられました。三蔵法師さんが、中国を出てから中国に戻られるまで、およそ12年の歳月がかかったと言われています。

中国に伝えるときに、インドの言葉を中国語に変換しないとイケない。この変換をするときに、どうしても変換の出来ない5種

類の言葉があったと言われています。その中にこの「サンガ」という言葉がありました。このインドの言葉の「サンガ」を中国の言葉に変えることが出来なかったのです。もっと言うと、考え方がなかった。と言ってもいいと思います。

こういうときは、発音に合わせて同じ発音の漢字を当てはめました。それが僧侶の「僧」（サン）と「伽」（ガ）です。これでサンガとしました。分かり易く言うと、漢字には意味が無い。と言うことです。

日本語が外国語に変換できずに、日本語のまま表記されている場合がありますね。例えば、最初のブッダン・サラナン・ガッチャーミというのは、自ら仏に帰依したてまつります。に当てはまります。仏様のことは、ブッダと申しますが、ここではブッダンと表現されています。ここに書かれていますように、もう少し噛み砕いて申しますと、「私は、ブッダン（仏様を）サラ（心から）ナン（大切に拠所と）・ガチャーミ（いたします）」とこうなります。

次に、ダンマン・サラナン・ガッチャーミですが、ここでは自ら法に帰依いたします。という意味になります。法は（仏様の教え）という意味で、パーリ語で「ダーマ」と申します。ここでは、ダンマンと表現されています。「私はサラ（心から）ダンマン（仏様の教えを）ナン（大切に拠所と）ガチャーミ（いたします）」となります。

さて、最期のサンガン・サラナン・ガッチャーミですが、自ら僧に帰依いたします。

という意味になります。サンガンは僧の意味です。そのまま読みますと、「お坊さんを大事にしましょう」という意味になりますが、実はちょっと違います。

サンガンは、もともとサンガという言葉です。昔々、三蔵法師さんが、中国からインドに渡って、お釈迦さまの教えをインドから中国に伝えられました。三蔵法師さんが、中国を出てから中国に戻られるまで、およそ12年の歳月がかかったと言われていました。

中国に伝えるときに、インドの言葉を中国語に変換しないとイケない。この変換をするときに、どうしても変換の出来ない5種類の言葉があったと言われていました。その中にこの「サンガ」という言葉がありました。このインドの言葉の「サンガ」を中国の言葉に変換することが出来なかったのです。もっと言うと、考え方がなかった。と言ってもいいと思います。

このような言葉は日本語にもあります。日本語の「交番」「もったいない」。これは、外国へ行っても「交番」「もったいない」です。なぜか。「交番」や「もったいない」という考え方が外国にはないからです。「盆栽」もそうです。このように外国にその意味の言葉がないと、そのままの言葉を使います。

それではこのサンガとは、インドでは「仏教徒」という意味で、皆さんのこと、好き嫌いなく皆さん全てを指します。お坊さんのことではないです。つまり、サンガン・サラナン・ガッチャーミは、私は、私の隣の仏教徒、そのまた隣の仏教徒、隣の

隣の仏教徒、ここにいる仏教徒、ここにはいない仏教徒、ここにはいないみんなを大切にしましょう。という意味で、私のご縁のある人全てを大切にしていける人生を歩んでいきましょう。というのがこの三帰依文なのです。

そこでもう1つ、【こども会 さんきえもん】というのがあります。

三つのちかい

・わたくしたちは、ほとけのこどもになります。

・わたくしたちは、ただしいおしえをききます。

・わたくしたちは、みんななかよくいたします。

これは、子供たちに三帰依文の事を紹介する時に使います。

この三帰依文は、三つに帰依すると言うことになります。

私たちは、仏と法までは帰依する(大切にすること)は出来るんです。

一つ目、仏壇がある方は、仏壇に手を合わせます。仏様に手を合わせます。ちゃんと敬っています。二つ目、仏様の教え。聞きます。守っていることもあります。この二つまでは出来るんです。三つ目は、みんな仲良く致します。これがなかなか出来ない。

昨夜、奥さんと大げんかした。朝起きてもまだ腹の中に残っている…。これでは仏様の教えに反していますね。これは、分か

っているけど出来ない。この三つ目が一番大切なことなんです。

なぜか……。親鸞聖人を初代として、八代目に蓮如上人という方がいらっしゃいました。

この蓮如上人のお言葉の中に、「四、五人の衆、寄り合い談合せよ(四、五人の人たちが集まって話し合いをなささい)必ず五人は意巧いぎょうに聞くなり(自分なりの聞き方をする)」

「一区一言を聴聞するとも、ただ得手に法を聞くなり(仏教の事を一つ一つ勉強をするけれども、自分の好きなどころだけを好きなように聞く)」とあります。

これは、今の私の話を皆さん100名いらっしゃったら100通りの聞き方があるということです。これはダメだと言うことではなく、誰もそういう聞き方をするということです。

先日終わりましたNHKの朝ドラ「まんぷく」で、世良商事の世良社長が、「わしが、

わしがの我を捨てて、おかげ、おかげの下で生きよ」とお祖母さんから教えられた言葉を言っていました。これはまさしく仏教の教えであります。

最後に皆さんに、あるお言葉をご紹介します。終わりたいと思います。

『つもり違い10箇条』

- ・高いつもりで 低いのが 教養
- ・低いつもりで 高いのが 気位きぐい
- ・深いつもりで 浅いのが 知識
- ・浅いつもりで 深いのが 欲の皮
- ・厚いつもりで 薄いのが 人情
- ・薄いつもりで 厚いのが 面皮つらのかわ
- ・強いつもりで 弱いのが 根性
- ・弱いつもりで 強いのが 我
- ・多いつもりで 少いのが 分別
- ・少いつもりで 多いのが 無駄

本日は、ありがとうございました。

医学編

指に目あり

長生学園 講師 星 虎 男



今から10年前になりますが、特別養護老人ホームの施設長をしていた時のことです。施設の経営を委託させていた社会福祉法人の理事長の奥様が原因不明の難病に悩まされていて、いろいろの病院で診てもらってもいっこうに原因も治療法もわからないという状況でした。私は、理学療法士ですが、もともとほり、きゅう、マッサージ師ですので、運動療法に併せて東洋医学的治療も行っていました。そのためか、病院の関係者から一度理事長の奥様を診てほしいと依頼があり、早速、病院に入院されている奥様を訪れました。病室でお会いした瞬間、顔色も悪く非常に衰弱されておられる様子で、正直なところ私の力ではどうにもすることができないのではないかと思いますでしたが、せっかくお会いしたからには、とにかく、まずはいろいろ様子を詳しくお聞きして、その上、可能であれば何か私でできる治療があればやってみようと覚悟を決めました。

そのときの主な症状としては、全身あちこちの筋肉が痛く、血圧も高く、食欲もなく夜ほとんど眠れないということでした。

全身を丁寧に触診してみると、首、肩、背中を中心に非常に筋肉が緊張しあちこちに強い圧痛としこりが触れました。おなかの筋肉も全体に緊張していました。血圧は180くらいで脈も頰脈で細い力のない状態でした。

とにかく私としては、この全身の筋肉の緊張とこりを少しでもとってあげれば楽になるのではないかと思います、全身の軽いマッサージと強いしこりのあるツボに細かいはりで弱い刺激をしました。反応が非常によく、敏感にひびきましたので、なにかの反応でであることを予測し病棟の看護師

士に「今夜は吐き気などの症状がでるかもしれないので注意してほしい」とお願いし、本人にも「はりがよく感じたので夜中に少し反応として嘔吐などの症状が出るかもしれないので、承知しておいてください」とお話し、その場を離れました。

2、3日後再び病室を訪れて、様子をききましたら、「おかげさまでその日の夜は少し筋肉の痛みは楽で久しぶりに眠れました」ということで、最初の日より顔色も幾分よくなって、声にも少し張りがでておられたように感じ一安心しました。内科部長から「本人も強く希望されているので、今後このような治療を続けてほしい」と要請がありましたので、週1から2回をめぐりに治療を行うことになりました。当時の病院の院長の紹介で他院を受診し、膠原病の専門医に診てもらったところ、即座に「あなたの病気は、線維筋痛症という根病で治ることはありません」といきなりいわれびっくりされたそうです。この先生からはっきり病

名が知らされ、しかも「この病気は難病で将来にわたって治癒することはない」ということを、あまりにも明快に話されたので「かえって気持ちが落ち着いた」と話されていました。

その後、私もインターネットで「線維筋痛症」を検索したところ、いろいろ記事がある中で外国でも非常に話題になっている難病で、よい治療法もないという中で「はり、マッサージ」が効果をもたらすケースもあるときき、私も、その方向で奥様の治療を続けてみることにしました。

その後、私は病院の常勤の職員として就職しましたので、奥様が入院されているときにはほぼ毎日（土、日を除く）、また退院されたときは、大泉学園の自宅を原則毎週金曜日の夜病院の帰りに訪問して、はり、マッサージ、軽い運動療法を奥様がお亡くなりになる前日まで約6年間続けました。2年前に肝硬変で永眠されましたが私は、幸運にも治療をとうして6年間奥様とお付き合いさせていただきまして、たくさんの思い出が残っています。なによりも、私の治療を100%信頼していただいたことです。まず、仰向けでおなかの触診をし、腹筋の緊張と腹大動脈の脈状を観察します。そのことで今日の奥様の全身状態をうかがい、治療方針をきめます。次にとくに緊張とこりの強い首、肩、背中、腰の筋肉のマッサージを入念に行い、とくに圧痛と硬結の強いツボにはりを行います（およそ20箇所）。

その後軽い運動そして最後に再びおなかを触診しますが、治療前と比べて腹筋の緊張と、動脈の異常な鼓動がおさまっているかどうかを確認して終了します。治療前後には血圧と脈拍を測定しますが、治療前に比べて血圧も脈拍も落ち着いているので安心して帰ることができました。幸いにも私の治療後は、すくなくとも2日間は筋肉痛も幾分やわらぎ夜もなんとか眠れるということで、私も励みになりました。あるとき、突然奥様が「星先生の指には目があるのですか」といわれ、私は思わず「はー」といって「どういうことですか」とたずねると、「先生の指はいつも私の痛いところに触り、よく揉んでくれるので、その後とてもからだは楽になるのです。だから、先生の指にはきっと目がついているのではないかと思っていました。」といわれ、私は、なんともいえない気分でした。しかし、きっと私の指が奥様の触ってほしいところ（トリガーポイント）を捕らえていたことの証拠だと感じ、たいへんうれしい気持ちになりました。あらためて触診察術の大切さを痛感しました。「指に目あり」、この一言を重く受け止めて今後の人生にいかしていきたいと思っています。

私は現在、非常勤講師として長生学園でマッサージ師の養成教育に携わっていますが、この経験を生かし少しでも人の痛みを感じ取れる医療者を育てたいと思っています。

開業5年目を迎えて ～脱サラ夫婦の治療院経営術 その1

岡山県 佐々貴司



はじめに

今年の4月でいよいよ開業5年目を迎え、授業中に恩師柴田修伽先生に警告頂いた、「先生、先生」と呼ばれ続け、気持ちがいつのまにか偉くなり、高慢な施術により、事故が発生しやすい時期となりました。5年も経つと、良くも悪くも、私たちに対する周囲の見方が変わってきているのを感じます。開業をした事で、近隣の鍼灸院、エステ店、整体が閉店に追い込まれる現象も起きており、いわゆる当たり屋の気配も感じられるようになってきました。一方、地域の小学校からは学区内の「こども110番」の拠点として依頼を受けたり、母校である長生学園からは入学案内のパンフレットに開業例として紹介頂ける事になったり、治療院として少しずつ社会的な信頼を得られているのを感じます。マッサージ業界の5年生存率が3%とも言われる程、開業の存続は甘くなく、技術も経験もない「ペーペー」の私たちが生き残っている経営手法に、同業者が興味を持って頂ける事も多くなってきました。今回もこのテーマで、機関紙へ寄稿させて頂く機会に恵まれ、この重要な節目の時期に、初心に立ち返るきっかけを頂いた事に感謝しております。

技術をいかにして売るか？

私たちが日々実践しているのが手技療法ですが、「手」の「技」と書き、手技と読ん

でいます。すなわち、この「技術」をいかに売るかという視点をまず大事にしなくてはなりません。幸いにも、私の前職が、ウェブ系のシステム会社でして、そこで技術を売るノウハウを学びました。技術を売る時に、大事になってくる三大要素というのがあるのですが、これを満たせば、技術は必ず売れると言われていました。その三大要素とは、①「技術を気軽に試せる」②「技術によって日常生活の質が向上する」③「技術がパッケージ化されている」という事でした。

①気軽に試せる～新規顧客のハードルを下げる

技術はまず試してもらわないとその良さを分かってもらえません。手技に対して不安、または信頼がない患者さんに対して、手技を気軽に試せる工夫が必要になってきます。そこで、私たちは、クイックマッサージのメニューを用意しました。10分1,080円単位で、30分まで利用が可能です。開業当初は「時間で施術を売るのは治療じゃない」と、先輩方にご指摘を頂き導入を迷いましたが、市の助成を受ける際に、市内を巡回しているバス停が近くにある事から、バスの待ち時間に受けられるクイックマッサージのコースの導入が助成を受ける審査の上でプラスになると説明を受け、導入を決めました。結果として、新規の患者さんを中心に、お

試しという位置付けで、クイックマッサージのコースを受けて頂いています。通常の治療のコースが、90分～120分で4,320円（60分で十分だった場合は、540円引の3,780円）ですから、30分で3,240円は、時間から考えると患者さんにとって損しているはずなのに、それでも需要があるという事ですから、通常の治療のコースを安心して受けて頂くために、施術を短く限られた時間で売らないほうが、患者さんにとって不親切だという結論に至りました。クイックマッサージを受けて頂いた患者さんのほとんどの方に、手技に対する安全性や信頼感を実感して頂き、それ以後は、通常の治療のコースを選んで頂いています。治療院の扉は、私たちが考えるより患者さんにとってとても重たく、敷居を下げてあげないと新規顧客獲得に苦労します。

②日常生活の質が向上する～リピートして頂くメリットを明確にする

はじめて治療を受けて頂く方には、必ず、日常生活でお困りの事をお聞きして、治療方針や治療計画を共に立てます。例えば「やかんを持たなくて困っている」という事でしたら、施術を数回受けて頂く中で、やかんを持てるようになったら、そこに感動が生まれ、予防目的でリピートして頂けるようになります。

結果が出づらいう症状であっても、その人が日常生活や仕事で困っている事に対して一生懸命向き合う事で、この人に任せてみようという事になる場合もあります。例えば「足首が変形していて、仕事を辞めない

とすぐに歩けなくなる」と医師に宣告された椎茸農家の患者さんがいらして、「歩けなくなっても良いから、一秒でも長く生き甲斐を感じている仕事を続けたい」と相談を頂ければ、私たちは患者さんの希望に沿って、ベストを尽くさせていただきます。結局、この方は紹介で遠方から通って頂いているため、患者さんの経済状況と相談させて頂き、月に一度の来院と頻度は少ないですが、自宅での運動療法と併用しながら、医師の宣告から三年が経ちますが、痛みは依然伴うものの、まだ自力で歩く事ができ、仕事も続けられています。他では治療効果が中々あがらず改善がなく、仕事を辞めるよう説得され、最終的には見放されたのでしょうか。私たちの治療でも、改善はしていませんが、「お陰様で悪化しないで済んでいます。最後まで見捨てないで下さい。」と言って頂いています。

施術目的を、患者さん任せにして、曖昧にしてしまい治療を始めてしまうと、受けて頂いた方がリピートする理由を見つける事ができずに、離れてしまう可能性があります。また、施術者の技術の向上にも繋がりません。患者さんのQOL（生活の質）が、施術を受けて頂く事で向上、または維持する事が施術を通してしっかりと伝われば、必ずリピートして頂けます。

③技術のパッケージ化～紹介頂くための工夫

「患者さんが来院してくれるのは、オレ様の技術が優れているからではなく、患者さんが口コミしてくれるから」

この言葉は、長生医学の授業中に、修伽

先生が説かれていた教えです。どんなに施術が優れていても、受けて頂いた方が、それを周りの人達に伝える事がなければ、患者さんは増えていきません。つまり、伝えやすくする工夫が、治療院として必要となってきます。

通常、施術の流れと言えば、まず問診、視診、触診、必要があれば徒手検査を行います。治療方針が定まりましたら、血液やリンパの流れを促すために一般操作を行います。最終的に、症状に応じて必要な特別操作を行なって終了となります。

施術が成功し、例えば患者さんの肩の痛みが取れたとします。治療院として、技術をどのように、パッケージとして提供しているのか説明がなければ、治った患者さんは周囲に、「あれほど痛かった肩が一発で治ったから、あの先生の所に行ってごらん下さい」となります。これでは、痛んでいる場所や不調が起きている場所は人それぞれなので、ピンと来る人が限られてしまいます。また、仮に肩が痛い人に伝わっても、一発で治る病態と、そうでない場合があります。もし、伝わった相手が腱板断裂や石灰化を起こしていたとすれば、当然手技療法では一発で治る訳もなく、「一発で治ると聞いて来たのに！」と不要なトラブルまで招いてしまいます。

私たちの治療院では、患者さんにとって分かりやすい表現を取り入れ、商品（パッケージ）である施術の流れを以下のように説明しています。

- ①カウンセリングと検査
- ②マッサージ治療
- ③脊椎・骨盤の調整

SASSA MASSAGE MENU
佐々マッサージ治療院 サービスメニュー

施術の流れ

- 1 カウンセリングと検査**
施術への希望やお困りの事をお伝えしながら治療方針を決めます。
- 2 マッサージ治療**
ため込んでしまった歪みや疲れを深いストレッチや軽い体操でからだ全体をゆるめ、本来の自然な動きを取り戻します。
- 3 脊椎・骨盤の調整とメンテナンス**
ストレッチや軽い体操でからだ全体をゆるめ、本来の自然な動きを取り戻します。

※施術料1,000円(施術・予約代含む) ※30分(予約・施術) ※施術時間延長は別途となります。

● **クイックマッサージ**
しつこい肩こりを手軽に解消。チェアで行う。肩のコース。
●10分……………1,000円
●20分……………2,000円
●30分……………3,000円
●フットオイル30分……………3,000円

● **ボディマッサージ**
60分～90分程度、じっくりと筋肉をほぐし、歪みを改善しながら身体まで調整。
●全身マッサージ治療…4,000円
●マタニティコース…4,000円
●不妊・婦人病コース…5,000円

● **アロマオイルトリートメント**
●PACIAL 小顔表情筋リンパ……………5,000円
顔の骨に沿って筋肉をゆるめ、歪みを矯正します。
●ボディ メディカルリンパドレナージュ……………5,000円
リンパ液の循環を促進し、アロマオイルを使用。
●FOOT 足ツボ解着マッサージ……………+1,000円
足のツボを刺激し、足がリラックス。

● **オプション**
●部分治療・トリートメント……………2,000円
気になる部分を2～3箇所お選び頂き、30分程度で集中的にリリースケア。マッサージやトリートメントと組み合わせる事で効果が期待できます。

●ヘッド 緊張、肩こり
●フェイスヤル 顔の歪み
●首肩 肩凝り、首こり
●アゴルテ 顎関節症、顎の痛み
●ハンド 腱鞘炎、手こり
●フット 冷え性、足指痛、むくみ
●お腹 内臓、お尻の痛み
●背中 猫背、肩こり
●骨盤 腰痛、骨盤の歪み、股関節痛

訪問終了緩和ケア
●2キロ未満……………+1,800円
●4キロ未満……………+2,600円
●6キロ未満……………+3,400円
●16キロ未満……………+4,200円

※当院より直線距離で10kmまでが往診の範囲と定まっています。
【※】当日お支払い下さい。【※】お身体に合わせた料金です。【※】お身体に合わせた料金です。【※】お身体に合わせた料金です。

自然の力を借りて、健やかに美しく からだのトラブルに関するご相談はお気軽にお申し付けください。

東洋臨床の授業で、百戦錬磨の小池先生が、徒手検査を完璧にできるようになれば、必ず生き残っていけると言われる程、丁寧な問診や徒手検査の需要を実際に感じます。来院される多くの方は、「病院では、触ってもくれず、話を聞いてくれるわけでもなく、動作も見えてくれなかった。レントゲンだけ撮って、痛み止めだけが処方され、結局何もしてくれなかった。」と言われます。それでも、私たち治療家は、医者を助ける立場にいる訳ですから、診断名をお聞きして、医師の診断が私たちの治療の参考にもなり、

病院への受診は決して無駄ではなかった事をお伝えします。そして、長生医学書に掲載されているレントゲン写真を一緒に見ながら、病態の説明をしていきます。長生医学の授業中に説明があったように、患者さんに、痛みや辛みの事を、徒手検査をしながら丁寧に聞くだけでも、それが治療に繋がりが、満足度があがります。

また、患者さんの心を開くお手伝いをしてくれるのが予診票ですが、これは長生学園の臨床実習室の中山先生にお願いして、卒業前に実習室で利用されている予診票を一枚分けて頂き、それを参考にして作りました。学生の時に臨床実習にお伺いした時に、見せて頂いたカルテに、詳細な患者さんの情報が細かく書かれてあり、あの短い施術時間で、どうやって引き出しているのか、興味を抱きました。頂いた予診票を見させて頂くと、治療の参考となる洗練された質問項目が並んでおり、より記入しやすい工夫を加えて、アレンジさせて頂きました。臨床実習室で鍛え抜かれたこの予診票がなかったら、新米の私たちが、開業直後から上手く患者さんの訴えを心から引き出せていなかったと思います。

そして、ただ筋肉をほぐし、血液やリンパの流れを良くするだけでなく、施術の最後に、座位を中心とした、骨格の「調整」を必ず行なっています。ここで、「調整」という言葉をあえて使用していますが、「矯正」という言葉を使うと、鳴らすイメージが強く、実際の統計はどうか分かりませんが、昨今

の事故の多さと高齢化が進むにつれ、鳴らす矯正に対して、アレルギーを感じている方が増えている雰囲気を肌で感じています。修伽先生も、鳴らす施術に対する世の中の目が段々と厳しくなっていており、新しく開業する場合は、看板に「矯正」、「整体」や、「長生」という言葉を使わない方が良いとおっしゃっており、その助言に忠実に従い「佐々マッサージ治療院」という屋号にしました。日頃から、患者さんより「鳴らさないでくれ」とか、「あそこの整体で鳴らされたら様子がおかしくなった」という話が良く聞かれます。「佐々マッサージ治療院」のネーミングは、本当にこれで良かったと思っています。

予診表

ふりがな		生年月日	年 月 日
氏名	(男・女)	明・大・昭・平	年 月 日 才
住所	〒		
電話	メール		
職業	紹介者		

●現在の苦痛・不安は何ですか？

●思い当たる症状やしばしば起こる症状に、チェックをつけてください。

<input type="checkbox"/> 体重の増・減	<input type="checkbox"/> 首のコリ・痛み	<input type="checkbox"/> 胸が苦しい	<input type="checkbox"/> 鼻づまり
<input type="checkbox"/> 身長が縮んだ	<input type="checkbox"/> 肩のコリ・痛み	<input type="checkbox"/> 胸の痛み	<input type="checkbox"/> 目がかすむ
<input type="checkbox"/> 睡眠・食事が不規則	<input type="checkbox"/> 手のコリ・痛み・しびれ	<input type="checkbox"/> 動悸	<input type="checkbox"/> 口内炎
<input type="checkbox"/> 不眠	<input type="checkbox"/> 足のコリ・痛み・しびれ	<input type="checkbox"/> 息切れ	<input type="checkbox"/> 口がねばる
<input type="checkbox"/> つかれやすい	<input type="checkbox"/> 手・足のだるさ	<input type="checkbox"/> 胃の痛み	<input type="checkbox"/> 口が乾く
<input type="checkbox"/> 不安感	<input type="checkbox"/> 背中のコリ・痛み	<input type="checkbox"/> 胸やけ	<input type="checkbox"/> のどがつまる
<input type="checkbox"/> ストレス	<input type="checkbox"/> 腰痛	<input type="checkbox"/> 食欲不振	<input type="checkbox"/> 咳が出る
<input type="checkbox"/> 耳が遠い	<input type="checkbox"/> 関節痛	<input type="checkbox"/> お腹がはる・痛み	<input type="checkbox"/> 小時間の不快
<input type="checkbox"/> 頭痛	<input type="checkbox"/> 関節が動きにくい	<input type="checkbox"/> 下痢・便秘	<input type="checkbox"/> トイレに近い
<input type="checkbox"/> めまい	<input type="checkbox"/> 歩きづらい	<input type="checkbox"/> 不正出血	<input type="checkbox"/> 生理不順
<input type="checkbox"/> のぼせる	<input type="checkbox"/> 冷え	<input type="checkbox"/> むくみ	<input type="checkbox"/> 運動不足

●現在受診している治療があれば○で囲んでください。

病 院	歯 科	市 販 薬	鍼灸マッサージ
接 骨 院	整 体	その他 ()	

●これまでにかった大病・手術・骨折があればお知らせください。

身長	cm	体重	kg	血圧	mmHg/	mmHg
ご協力ありがとうございました。 佐々マッサージ治療院						

さて、話は逸れましたが、私たちの治療院では、施術の流れとして、「検査・手当・調整」のパッケージ化された技術を、ワンストップで受けられる事を事前に説明しています。その上で、施術効果を実感して頂ければ、「痛みも和らいだし、あそこの先生は、マッサージだけでなく、話も良く聞いてくれて、最後にソフトに骨格も調整してくれる」と紹介頂けるようになります。そうすれば、紹介頂いた方が、どんな症状でお困りでも、「それじゃ、私も一度見てもらおうか？」という流れになるはずです。

一度、実際に難病である黄色靭帯骨化症の患者さんを紹介頂きました。両下肢に神経症状があり、膀胱直腸障害を伴う歩行困難という、手に負えないような状態でありました。しかし、必要な徒手検査を行い、通常私たちのような医療機関からの紹介がないと、受け入れてくれない県を代表する大きな病院である岡山済生会総合病院と、患者情報提供書を通じて、連携をしながら治療する事を提案しました。治療の仕方は、学会で修加先生にお聞きしました所、「決して突っ込まず、週一度通ってもらおう」とアドバイスを頂きました。初めの数回の治療でももちろん結果は出ませんでした。脳神経の専門医と連携を取りながら手技療法を受けられるという事で、大変喜んで頂きました。この方も遠方からいらして頂いていたため、経済状況をよく相談させて頂き、月に二回通って頂くようにしました。初回の治療では、排尿は全てカテーテルで、排

便も薬の服用で便を柔らかくした上で、指や綿棒を肛門に突っ込みながら排便しているような状態で、舌も痺れ出してきたいて、「余命残り少ないと感じている」と言われていました。特別な事は何もやっていないのですが、連携させて頂いている医師に送って頂くMRIの写真を見ながら、突っ込まず一般操作を通じて、一生懸命プラーナを送る治療をしてから一年位経った時でした。純光法師のお力を頂いたのか、奇跡的に、直腸障害が改善され、肛門の疼痛は伴うものの薬や物理的な方法を介さずに排便ができるようになったと言われました。おまけに、血行不良で黒ずんでいた足の色も回復し、運動機能も以前より改善し、もともと仕事として行っていたダンスの講師に復帰されたとの事です。今では「ここで骨を埋めるつもりです」と、雪が降っても、わざわざ四駆の冬タイヤを装備した車をレンタカーして、往復三時間以上かけて通って頂いていますから、より一層責任を感じています。

このようなケースに至ったのは、紹介頂いた方に、初めて受けて頂いた時に、施術の流れをパッケージとして説明させて頂いたからだと確信しています。技術の対価が、治る、治らないの表現で伝わってしまうと、紹介数は増えていきません。病態に対して、良く話を聞いて検査し、手を一生懸命当て、出来る限り調整する技術がパッケージ化されているという伝わり方であれば、確実に紹介で来院される患者さんのパイは大きくなり、来院数が増えていきます。

関本薫先生に感謝 ～私が長生学園に入った理由～

44期生 中村政夫

千葉県市川市で開業されていて、2018年1月に亡くなった、17期生の関本薫先生について書かせて頂きたいです。

日大の附属高出身の私は、そのまま日大に進みましたが、あるときから人の目が異常に気になり登校拒否となり、順天堂大学浦安病院の精神科を受診しました。その医師の紹介で、東京都文京区本郷にある、カウンセリングに通うことになりました。ずっと家の中に閉じこもって寝たきりでしたから、カウンセリングをしてくれる上智大学心理学科卒業のカウンセラーに、肩や腰が凝ってしょうがないことを伝えると、偶然ですが、そのカウンセラーも私の実家がある市川市に住んでいて、関本長生治療院を紹介して下さったのでした。何でも、医師である旦那さんも、おじいちゃん、おばあちゃん、お子さんも、一家で関本先生の治療院にかかっていることを後にお聞きしました。

関本先生に初めて治療を受けた時、

「〇〇先生には悪いけど、1週間に1回1時間のカウンセリングなんてらち明かないよ、無料でいいからあたしの所にいらっしゃい。」

と言うのでした。

その時私は19歳でしたので、何も考えず先生に言われるまま、本当に何十回も無料で治療して頂きました。関本先生に随分た

ってからその事を聞いてみると、そんな事はまるで覚えていないとの事でした。

しばらく何もしない日々が続きましたが、関本先生が、「あんた、ぶらぶらしているなら私が通った長生学園を受験してみれば。」と、紹介され受験しました。他にも3つ受験していましたが、長生学園しか受からなかったのです。入学する少し前から何故か顔にもアトピーが出始め、在学中は精神病患者のようであったのは、同期の方が皆知るところです。

関本先生は元々、大森の衛生学園出身の方の治療院で10年勤め、主任となって技術指導係になってから長生学園に入学されたとのことでした。

入学する時に、「あたしが教えると手が違っちゃって、学校の先生に悪いから、あたしは一切教えないからね。」と仰いました。関本先生は長生会には属しておらず、治療は10年いた治療院のマッサージに、八の字と膝頭と座位の首の矯正を加えたものでした。

「あたしはねえ、長生の学生時代はいい思い出しか残っていないよ。本当にいい学校だった。」が口ぐせで、三輪先生が優しくて大好きだった、とよく仰っていました。

卒業してからも2,3ヶ月に1回位は会い、一緒にお食事していましたが、一昨年の11

月に電話すると、

「3週間前から座骨神経痛で歩けなくなっていてねえ。ちょっと食事は無理だけど、あんた、治療しにきてくれないかねえ。」

と、仰るので丁度働いていたマッサージ店への出勤前に関本先生の治療院に行きました。治療院と言っても古い2階建てのアパートの1室を自宅兼治療院にされていて、狭い急な階段を上がって治療院に入るのです。ここに、市川市の名士や、元市長、政治家たちが通っていました。遠くは佐原や荻窪から。松戸から健康の為に毎週歩いてくる患者さんもいるとのことでした。

身体を診させて頂くと、まず立ち上がる時に左の座骨から大腿に痛みが走り、歩く時も何かに掴まないと歩けない。しかもびっこを引いて歩いていました。また、座っている時は痛みはないとのこと。

「あたしはねえ、不思議なことにこんな身体でも治療だけは出来るんだよ。でも、身体の大い固い男性は全て断っているけどね。」

と、仰いました。1回目は普通に治療してみました。丁度、臨床実習室で、中山先生や恩田先生や伊藤先生に教わっていたので、色々と試してみましたが少し楽になった程度でした。北関東支部のある先生に、それは座骨神経痛ではないんじゃないか、とアドバイスを頂き、長生の教科書に書いてある、仙腸関節炎のテストをしてみました。すると、陽性。確か仙腸関節炎は峠を越さないと治らない、と授業で教わったはず。でも患部はあまりやらず、全身をさせて頂

くのは関本先生の身体にとって悪影響を及ぼすことはないであろうし、私の練習にもなると思い、週3回程、午前11時頃訪問させて頂きました。

伺うときは関本先生の好きなパンを買って行って、治療が終わった後一緒に食べました。また、私の腕にもたれながら、びっこを引いて市川駅まで一緒に行き、野菜や食べ物を買いに行ったことも何度もありました。9月に会った時には元気で、毎日の日課としている、朝4時頃に起きて1日2万歩の散歩をしっかりとされていただけにかなりショックでした。

これはただ事ではない。病院に行った方がいい、と促しても、

「あたしはねえ、開業して40年、病院にかかったのはしいたけアレルギーでかかった1回だけなんだよ。それに1年前に拾ったこの子（猫）も心配だしねえ。」

そうです、猫の餌も何回も買いに行っただけです。以前、関本先生を1度怒らせてしまって大変な目に遭ったことがありましたから、ここは強制せず、上手く誘導しないとイケないな、と思いました。

何度か様子を伺いながら話すうちに、ようやく病院に行く、と仰ったのです。でもその前に散髪に行きたい、と仰るので、私の腕を杖代わりにして美容室に行き、次の週に先ず、近所の町医者にて2人で行きました。すぐに総合病院を紹介して下さり、即入院して精密検査、と言われましたが、

「あたしはねえ、患者さんにも知らせない

といけないし、猫もいるから、今すぐ入院なんて出来ないんだよ。」

と、医師に啖呵を切ったとのことでした。次の週に入院となりました。入院の日の朝、治療院に行くと、群馬からきた80歳のお姉さんがいました。関本先生は入院の3日前まで治療されていました。心配した患者さんが、日用品等持ってきてくれているようでした。

私は知らなかったのですが、入院するのも家族の同意書がある時代。前の週はお姉さんがいなかったのが結局入院出来なかったことを知りました。私も猫の引き取り手を色々と捜しましたが、近所の方に引き取られて、今は幸せに暮らしているそうです。

子宮癌から肝臓に転移して、今は全身に癌がまわっている、とのことでした。左大腿の痛みは癌の骨転移、ということでした。2017年12月8日に入院されて、関本先生は生涯独身で子供もいませんでしたが、昔、犬の散歩をしていた時の仲間たちや、患者さんが沢山お見舞いに来ているようでした。犬の散歩仲間の仲の良い散髪屋さんに、初めて入院の報告をしに行くと、関本先生の名前も知らず、治療師ということも知らず、ただおばちゃん、とだけ呼んでいた、と言われた時には驚きました。

12月20日辺りまでは元気でしたが、勤務しているお店の朝番をやらなければならず、1週見舞いがあいて行ってみると、一気に容

体が悪くなっていて、もう喋ることも、歩行車でトイレに行くことも出来ず、寝たきりになっていました。

2018年元旦の日は、さすがに他のの方の見舞いは無かったようでした。2日は皇居に行ってから、真間山弘法寺の健体のお守りを持ってお見舞いに行きました。

私が皇居へ行くようになったのも関本先生の一言からです。関本先生は東日本大震災以来、飼っていた猫が心配で電車に乗れなくなり、一般参賀に行けなくなったとのことで、

「あんた、私の代わりに行きなさい。正月にあの清浄な空気を吸うのは良いことよ。」と仰るので、それ以来先生の代わりとして毎年行くようになりました。

1月6日に亡くなったとご家族から連絡がありました。すぐに私は関本先生の隣の家に住む近所に顔が広い患者さんに連絡し、犬の散歩仲間の散髪屋さんにも知らせました。親戚は遠く新潟や群馬、名古屋からお越しになり、お葬式には、私も参列させていただき、犬の散歩仲間が病院に届けてくれた、大きな花々が活けてありました。

関本先生の治療院の長生早見表が欲しかったのですが、全て業者に処分して頂いた、との親戚の方のお話で残念ですが無理でした。

私を長生の道に導いてくださった関本先生へ、哀悼の意を表します。

合 掌

長生歌壇

令和元年度

第六十回総会時返信俳句

背くらべ 子らの頭と 雪の壁

浅井 威

足先に かすかな春の 温さかな

道わきに 今年も生きると ふきのとう

市村 慎二

如月や 純白の田に 光舞う

大村 和彦

見上げれば 青に溶けゆく 春霞

第二子に シバレも温むや 孫の報

藤本 隆

露天風呂 にぎわう先に 春北斗

平林 数巳

七回忌 我が身が供養 どんど焼き

雪美酒 盆を浮かべし 湯気の中

香り立つ 切絵の干支の 年迎ひ

近藤三紗子

節分の 大豆(まめ)の炒り香や 郷遠し

たくさんの方作を

春の鴨 川瀬に弾み 整はず

ありがとうございます

待ちわびる 新元号に 春息吹

上田 義博

還暦に 最強寒波 お仕置きか？

一層の作品をお待ちしています

申告を 深刻にする 火の車

近藤 俊之

担当 市村

雪融けて 夫婦仲良く 愉しけれ

囀りと 明るい窓に 二度寝して

雛壇に 二人揃って 内裏雛

近藤 俊之

統計の 信用損う 不正かな

統計の 不審募らす 不正かな

古い先の 太く長くと 願いつつ

終日(ひねもす)のたりのたりたり



悩みや疑問、気軽に聞いちゃおう
～みんなで作る“長生知恵袋”～
第27弾 長生院のベッドにて②

《前回のあらまし》

脱腸のレクチャーを受ける横山。ところが横山の異常に気付いた大村は「デモンストレーションでは済まない」と検査を始める。股関節の異常に大村の手は、なぜか頭部へ・・・デモはマジ治療に急展開。どうなる横山！！



おや？…頸椎にも問題があります。これは怪我ですね？

ラグビーでタックルした時に首を何度も壊してます。
この怪我が長生との出会いです



仰臥位で後頭骨にコンタクト。後頭骨から指を差し込むように触診。



やはり左の大孔の開きが悪いです。
身体の中心腱が左に引っ張られているようです。

中心腱？



頭蓋底から骨盤底にかけて脊椎の椎体前面を走行する身体の中心軸です。
コアなので触れることは出来ませんが、
イメージするなら脊髄ではなく前縦靭帯でしょうか。

そんなに長い腱が強張ると…
背骨がお腹側に引っ張られることになりますね。



首や背中中の筋肉も片寄って引っ張られるので、症状は背中側に痛みとして
現れることが多いのですが、強張っている個所は前なので、自覚症状のある
背部をゆるめても楽にならないのが特徴です。

中心腱の歪む原因は？



精神疲労が原因になっているケースが多いですが、
横山先生のように怪我のエネルギーが中心腱を歪めて、
離れた関節に症状を出すことも少なくありません。

そんなにコアな個所の歪みが分かるものですか？



頭著に分かるのは円背です。
縮んでいるのはお腹側なので背中を押しても改善しません。
片寄って牽引されると、脊椎の彎曲や肩の高低、首の傾き、左右乳様突起や
首の筋肉のアンバランスなど、視診でも容易に推察出来ますが、こうした頭
蓋骨の変形としても現れます。

なるほど…鼠径部から急に後頭骨に移ったので度肝を抜かれました。



頭蓋と骨盤は密接な相互関係があると思います。
亡父（大村基實先生）は、よく腰痛患者の頭蓋骨を操作していました。

私も後頭骨と骨盤のバランスを治すことは大切だと思いますが、
大村先生はなぜ関心を持ったのですか？





頭蓋と骨盤に限らず、各組織が心身複合体の中で全身の組織とコミュニケーションを取っているのを感じるからです。
最近、片足立ちをすると激痛が走り、パトリックテストも陽性の患者さんが、顎関節の矯正だけでパトリックテストが陰性になり歩けるようになりました。
病院では股関節が浅いと診断されたそうですが、本当の原因は、歯科で長時間口を大きく開けていたことでした（笑）。顎関節のストレスが仙腸関節との正常なコミュニケーションを損なわせていたケースです。

仰臥位のまま、後頭骨と下顎を持ち、頸椎を一度伸展させてから、顎を引かせた状態のまま首を回旋・側屈させながら、頭をベッドの方に押し下げて、顔を水平に…。



後頭骨と顎を押さえて微調整しているようですが、矯正をされている様には感じません。何をしているのですか？



中心腱にアプローチしています。
脊椎の前面で強張っている中心腱に狙いを定め、プラーナで緩めるのですが、自分の腕はベッドに固定させ、腰で牽引します。
中心腱にアクセス出来たらテンションをかけ、自分のプラーナを患者さんのプラーナに同調させると、患者さんのプラーナが活動を始めます。
プラーナの特性として、大黒柱である背骨の循環が良くならなければ全身に行き渡りません。そのために、心と身体の軸を整える脊椎矯正と精神療法が治療に不可欠なのだと思います。

気功法で小周天と呼ばれている気の循環と同じですね。
しかし中心腱の感知が難しそうです



咽頭縫線あたりに狙いを付け、首を支えている掌で感知するのがコツです。

確かに咽頭収縮筋の停止部は、頸椎の椎体よりも前で喉よりも後ろにありますね。



治療後に脊椎を触診してみてください。
胸椎の彎曲がなくなっているので、内側から矯正されていることが確認出来ます。
こうして自分のプラーナを患者さんのプラーナに同調させ、内側から自然治癒力を引き出した方が、鎧のような筋肉でおおわれている外側から刺激するより有効なケースもあります。

咽頭縫線も直接触れることが出来ないので、イメージが必要ですね。



プラーナは意識のエネルギーなので、身体の中をビジュアライズ出来るくらい具体的にイメージした方が効果的だと思います。そうした意味で解剖学は、私にとってはプラーナを目的地に向ける地図のようなものです。
なので、もっとしっかり勉強しておけば良かった…（笑）

治療を受けていて感じましたが、手はあまり動かさないのでね。



長生の先生が治療におみえになった時、待合室で私の治療を見学しながら「今何をしているのですか？」とよく聞かれます（笑）
自分のプラーナと患者さんのプラーナが同調するのを待っているの、傍目は休んでいるように見えるのかもしれませんが、意識はフル稼働させています。



横山先生は身体の左側で、プラーナの循環障害を起こしていますね。

左後頭骨と左の足首が壊れているのは自分でも自覚しています。
この操作を受けていると胸郭、鼻腔が開いてきて呼吸が楽になります。
頭の位置が今まで経験したことの無い所に来ている感じです。



しかしまだ左の骨盤に、プラーナが正常に循環してないようです。
やはり頸椎の矯正が必要です。



仰臥位のまま頸椎の矯正を「ポキッ！」
…何も痛くなく、とてもソフト。
この矯正の角度も今まで動かされたことの無い角度。

また、鼠径部の触診に戻る



横隔膜神経（C4）を矯正しました。左股関節の可動域をチェックしてみましょう。

え〜！！全然違う。いつも左の鼠径部が引っかかっていたのが全く無いです。



動きの阻害されていた横隔膜が正常に働き出したので、骨盤にもプラーナが循環するようになりました。

尾骨をもう少し調節しましょう。尾骨のプラーナは地に足を着けます。従って尾骨にトラブルがあると、地に足が着かなくなり、身体と頭が緊張で休まらなくなります。うつ病や精神疾患、トラウマが疑われる患者さんは、必ず尾骨のプラーナを診ます。

ソフトな刺激なのに尾骨がゆっくりと動いています。
これも初めての感覚です。下腹部がポカポカしてきました。



自然治癒力が正常な活動を始めているので、身体が変化しますよ。

鼠径部、足関節の確認。肋骨の高さを触診。



隅々まで広がってきたプラーナが、全身の筋肉の緊張をほぐし骨格のゆがみも治してくれます。

伏臥位になり恥骨の触診。



痛みはありますか？

最初に触診した時の痛みがなくなりました。



まだ少しこわばりが残っているので、胸椎と頸椎を微調整しますね。
胸椎は手っ取り早く膝頭を使います。



大村和彦(おおむらかずひこ)
長生学園26期生



* 演者紹介 *



横山恭寛(よこやますひろ)
長生学園27期生



仰臥位にてC1の伸展

膝頭の矯正(片足)T8,10



頸椎1番を拡げる操作です。外後頭隆起に手を当てて、首を屈曲させながら手にプラーナの流れる角度で固定し広げます。

頭の中がスッキリします。1時間ぐらい瞑想した様な気分です。



座ってください。最後に横山先生のプラーナを確認させてください。

座位で尾骨を触診。



尾骨から頭蓋に向かって渦のようにプラーナが流れ、胸郭にも横に広がるくらいプラーナが循環しているので、後は横山先生の自然治癒力が勝手に治してくれますよ。まだ足関節の問題が残っていますが、ひとまずリセットしました。

全身スッキリしました。今までに受けたことの無い手技、矯正を体験できました。Mさんが仰ってたように全身にエネルギーが漲ったようです。凄いですね！



私が凄いのではなく、横山先生自身の旺盛な自然治癒力を体感しているだけです。

これは大村先生のプラーナではなく、私のプラーナですか？



厳密に言えば、他力…横山先生の細胞に命を吹き込んでいる“仏の意識”だと。

やはり私たちは“生かされている”のですね。さすが、大村先生が永年かけて身につけた技…。



私の技ではありません。長生学園からはじまり諸先生から学んだ三位一体の教えが、自分の中で消化され、臨床の中で身になっていくプロセスなので、まだ消化できていない学びが実践で血肉になれば、治療は更に変化すると思います。

大村先生の治療も日々進化しているのですね。



“正しい背骨には自然治癒力という最高の薬が働く”という長生の原理を実践し、他力にお任せしているだけなので、基本的には横山先生の治療と同じです。さて本堂に戻って、管長差し入れの楯野川をご馳走になりましょうか♪

もう…空になっているかも (^;)



=支部報告=

中央支部 定例会

日 時 4月28日(日)

場 所 長生寺 3F

参加者 48名

定例会内容

午前 基本動作の徹底

午後 腰部、下肢の治療

実技指導 村山幸喜司 先生

千葉茨城支部 5月定例研究会報告

日 時 5月12日(日) 11:00~16:00

場 所 長生寺3階

参加者 27名

広島支部 勉強会並びに広島教会花まつり

日 時 5月12日(日)

場 所 広島県福山市神村町 広島教会

講 師 秋山清一先生

導 師 高橋 豊城先生

法 話 坂谷 裕司先生

勉強会 8名参加

花まつり 15名参加

=支部案内= 千葉茨城支部 支部定例会の開催時間の変更について

下記のように開催時間の変更を致します。

【これまで】

開始：11時

終了：15時

【次回以降】

開始：10時30分

終了：16時

学園便り

令和2年度(第65期生)長生学園学生募集要項

入学試験日程

試験区分	試験日	選考方法
AO入試A	令和元年6月23日(日)	書類審査と面接
AO入試B 社会人入試A	令和元年9月1日(日)	書類審査と面接 小論文と面接
社会人入試B 推薦入試	令和元年10月6日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試A	令和元年11月3日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試B	令和元年12月1日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試C	令和2年1月26日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試D	令和2年2月16日(日)	小論文と面接 又は 現代国語と面接
一般入試E	令和2年3月14日(土)	小論文と面接 又は 現代国語と面接

長生学園 オープンキャンパス開催日程 予約制

2019. 5/18(土) 6/15(土) 7/20(土) 8/24(土) 9/28(土) 10/26(土) 11/19(土)

2020. 1/18(土) 2/8(土) 各日 13:30~17:00

申し込みはWEBサイト

もしくは、長生学園事務局03-3738-1630【受付時間9:00~20:00】

★ 試験会場 ★

厚生労働大臣認可
宗教法人総本山長生寺付属



長生学園

〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-35-7

TEL 03-3738-1630 FAX 03-3738-1768

URL <http://www.chousei.ac.jp>



令和元年5月30日 印刷

令和元年6月3日 発行

発行者 日本長生医学会会長 柴田政宏

発行所 日本長生医学会本部

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦1-7-10

振替口座 横浜00240-3-2497

☎ 045-521-7486

FAX 045-504-2118

印刷所 有限会社 サン・プリンティング

〒146-0083 東京都大田区千鳥2-31-11

☎ 03-3750-6633